A2B™ HYBRID 24

取扱説明書

- ご使用いただく前に本書をお読みいただき、十分に理解した上で走行してください。
- この自転車は一般道路用として設計されています。不整地での走行、競技での使用などはしないでください。
- 本書をお読みいただいた後、大切に保管していただき、本製品を他の人に譲渡される場合は、本書も一緒にお渡しください。

目次

1.0　はじめに

Ultra Motor A2B HYBRID24 ※（ウルトラモーター エーツービー ハイブリッド 24）をお買い上げいただきありがとうございます。
A2B HYBRID24 は、ハイエンドのパワーアシストサイクルです。
通勤や買い物の手段、また気分転換にもなる、新しい革新的な乗り物です。自動車の運転よりも楽しく、駐車スペースにも困らず、ガソリン代もかからず、環境にも優しい…といった特長は、乗っていただければすぐにご理解いただけるでしょう！

※ 以降このマニュアルでは A2B HYBRID24 を A2B と呼びます。

ご両親、保護者の方への注意
お子様が A2B を使用するとき、保護者としてお子様の行動と安全に責任があることをご理解いただき以下の点を確認した上で使用させてください。

- A2B がお子様の体格や用途に適していること。
- A2B が正しく機能し安全に使用できる状態であること。
- A2B の安全な使用方法について理解していること。
- お住まいの地域の自動車、自転車、交通に関する法律や規則、条例を知り、理解し、順守すること。
- 安全で責任のある走行が出来ること。
- お子様が A2B を使用する前に、あなたとお子様がこのマニュアルを読み、警告と A2B の機能および使用手順を確認し、理解していること。

取扱説明書について
※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用したことによる事故や損害について、当社では一切責任は負いません。
※ 本書はすべての条件における A2B の安全な使用について記述しているわけではありません。
※ 本書で使用している写真、イラストは商品の仕様変更等により、実際の形状と一部異なる場合があります。
※ 本書についてご不明な点がございましたら、お気軽に株式会社デイトナまでお問い合わせください。

1.1　シンボルマーク

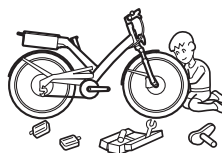
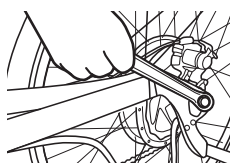
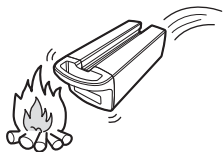
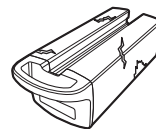
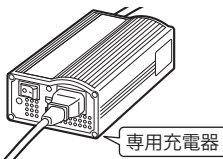
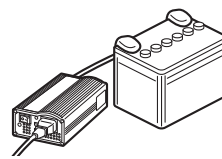
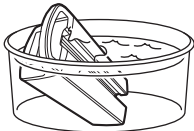
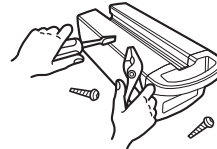
本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

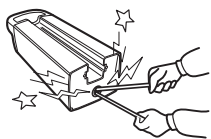
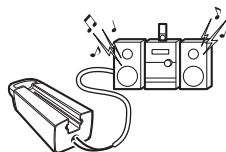
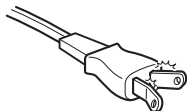
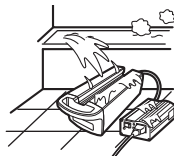
警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
要点	正しい操作のしかたや、点検整備上のポイントを示してあります。
実施	表記の行為を強制したり、指示内容を告げるものです。
禁止　水ぬれ禁止　接触禁止　分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。

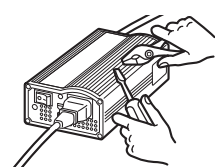
2.0 安全上のご注意

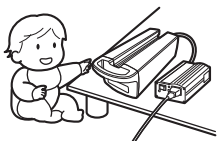
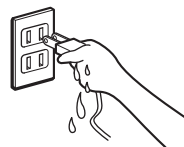
安全に関する記述を、乗車する前にお読みいただき、十分に理解した上で走行してください。
また、ウルトラモーター正規販売店による取扱上の注意などの説明を受け、安全にお乗りください。

2.1 A2B を安全に使用するために

警告	
禁止 限界マーク シートポストの、最小差し込み限界マークが見える状態で乗らないでください。シートポストの破損や、転倒によるけがのおそれがあります。	分解禁止 改造や分解はしないでください。部品の破損によるけがのおそれがあります。
禁止 OIL ブレーキの制動面に注油しないでください。ブレーキが効かなくなって転倒や追突によるけがのおそれがあります。	実施 点検、調整後または車輪の脱着後は、締め付けを確認してください。車輪などが外れて転倒し、けがをするおそれがあります。

⚠警告

バッテリーを火中に入れたり、加熱しないでください。液漏れ、異常発熱、破裂のおそれがあります。

ケースの破損したバッテリーを使用しないでください。漏れた液体が目に入ると失明のおそれがあります。

バッテリーの充電は、専用の充電器及び付属の電源コードを使用してください。他の充電器を使用すると、発火、異常発熱、破損のおそれがあります。

充電器は、A2B 専用のバッテリー以外の充電はしないでください。異常発熱、発火の原因や感電のおそれがあります。

バッテリーを水没させないでください。異常発熱、発火、破裂のおそれがあります。

バッテリーを改造、分解しないでください。液漏れ、異常発熱、破裂の原因や感電のおそれがあります。

⚠警告

バッテリーの接続端子を、金属などでショートさせないでください。液漏れ、異常発熱、破裂の原因や感電のおそれがあります。

専用のバッテリーのため、他の電気製品に接続しないでください。液漏れ、異常発熱、破裂のおそれがあります。

電源コードや電源プラグが破損している充電器は使用しないでください。異常発熱、発火の原因や感電のおそれがあります。

湿気の多い場所や、水に濡れている場所では、充電しないでください。異常発熱、発火の原因や感電のおそれがあります。

充電中はカバーをかけたり、充電器の上に物を置かないでください。発熱による火災のおそれがあります。

充電器の改造はしないでください。異常発熱、発火の原因や感電のおそれがあります。

⚠ 警告

幼児の手の届くところでは、充電しないでください。けがや感電のおそれがあります。

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。

実施

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

コンセントや配線機器の定格を超えての使用はしないでください。発熱による火災のおそれがあります。

2.2　A2B を安全に乗るために

⚠ 警告

二人乗りはしないでください。転倒や落車などによるけがのおそれがあります。

幼児用座席を取り付けても二人乗りは出来ません。
A2B は二人乗りのための設計をしておりません。 フレームを破損し重大な事故につながるおそれがあります。

自転車専用道路など並進が認められている道路以外では並進しないでください。自動車、歩行者、他の自転車と接触し事故につながるおそれがあります。

⚠警告

体調が優れないときやかぜ薬服用時は乗らないでください。体の運動機能が低下し、転倒や接触事故につながるおそれがあります。

飲酒運転は法律により禁止されています

夜間やトンネル内、視界の悪いところでは、無灯火で乗らないでください。見通しがきかなくて、転倒や接触事故につながるおそれがあります。

ヘッドフォンを使用しながらの運転や、携帯電話を操作しながら乗らないでください。バランスを崩したり前方不注意になり、転倒や接触事故につながるおそれがあります。また、各地域の規則や条例により罰則を受ける場合があります。

積載条件を超える荷物を積まないでください。バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

けんけん乗り（片足でペダルをこぎながら助走をつけ、サドルにまたがる乗り方）をしないでください。アシスト機能が作動し、A2Bだけが前に進み、転倒や接触事故につながるおそれがあります。

A2B に慣れないうちは、車通りや人通りが多い場所で乗らないでください。転倒や接触事故につながるおそれがあります。

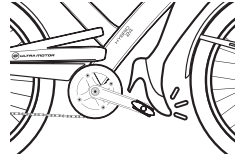
⚠ 警告

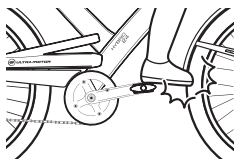
停車中は前後のブレーキをかけ、ペダルには足を乗せないでください。アシスト機能が作動し、不用意に前に進み、転倒や接触事故につながるおそれがあります。

発進時に、ペダルを強く踏み込み過ぎないでください。急発進により、転倒や接触事故につながるおそれがあります。

車輪やチェーンに巻き込まれやすい服装で乗らないでください。転倒によるけがのおそれがあります。

手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつないでの運転はしないでください。荷物や紐が車輪に巻き込まれたり、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

乱暴な運転はしないでください。転倒や接触事故につながるおそれがあります。

滑りやすい靴や、かかとの高い靴を履いて乗らないでください。足がペダルから外れ、転倒によるけがのおそれがあります。

⚠警告

土踏まずや、かかとでペダルを踏まないでください。カーブなどでつま先が前車輪と接触し、転倒によるけがのおそれがあります。

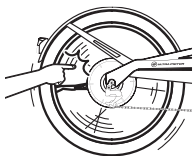
滑りやすいところ（積雪や凍結した道、鉄板の上やぬかるみなど）では乗らないでください。スリップして転倒によるけがのおそれがあります。

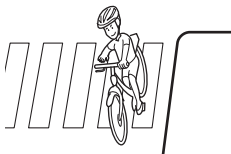
凹凸の激しいところ（歩道の段差や溝など）では乗らないでください。フレームや車輪の損傷や、転倒によるけがのおそれがあります。

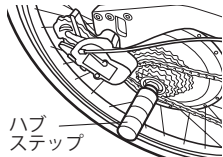
片側だけのブレーキ操作はしないでください。スリップして転倒によるけがのおそれがあります。

雨、風、雪のひどいときは乗らないでください。バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

走行以外（踏み台代わりなど）に使わないでください。転倒によるけがのおそれがあります。

⚠警告

回転部分に手や足、物などを近づけないでください。また子供を近づけさせないでください。車輪やチェーンに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。

カーブで曲がる側のペダルを下げないでください。ペダルが地面と接触し、転倒によるけがのおそれがあります。

合図をするとき以外は、ハンドルから手を離さないでください。バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

傘やステッキ、釣り竿などを車体に差し込んだり、つり下げたりして乗らないでください。他の人との接触事故や、転倒によるけがのおそれがあります。

ハブステップなど、歩行者に危害を及ぼすおそれのある突起物を取り付けないでください。歩行者に接触し、けがをさせるおそれがあります。また突起物が自動車などに接触し事故につながるおそれがあります。

スポークの間に固形物（ボールなど）を入れて走らないでください。車輪に巻き込まれ、転倒によるけがのおそれがあります。

2.3　道路を走るときのルール

安全に乗るために、交通ルールを必ず守りましょう。
安全のため、ヘルメットの着用をおすすめします。

自転車は車両用信号に従って進んでください。

必ず車道の左側を一列で走行してください。

⑦停止線のある場所や見通しの悪い交差点では

⑥信号機のある交差点で右折するとき

駐輪禁止の場所に駐輪しないでください。

②信号機のある交差点では

⑨停車中の車の横を通るとき

⑫子供の飛び出しに注意しましょう

③停止するとき

⑩車の後ろを走るとき

⑪巻き込み事故に注意しましょう

④左折するとき

⑬自転車の通行が出来る歩道を通行するとき

⑤右折するとき

①発進するとき

⑭視界が悪いときは

⑧踏切では

道路標識を守りましょう

止まれ

一時停止

自転車通行止め

自転車および歩行者専用

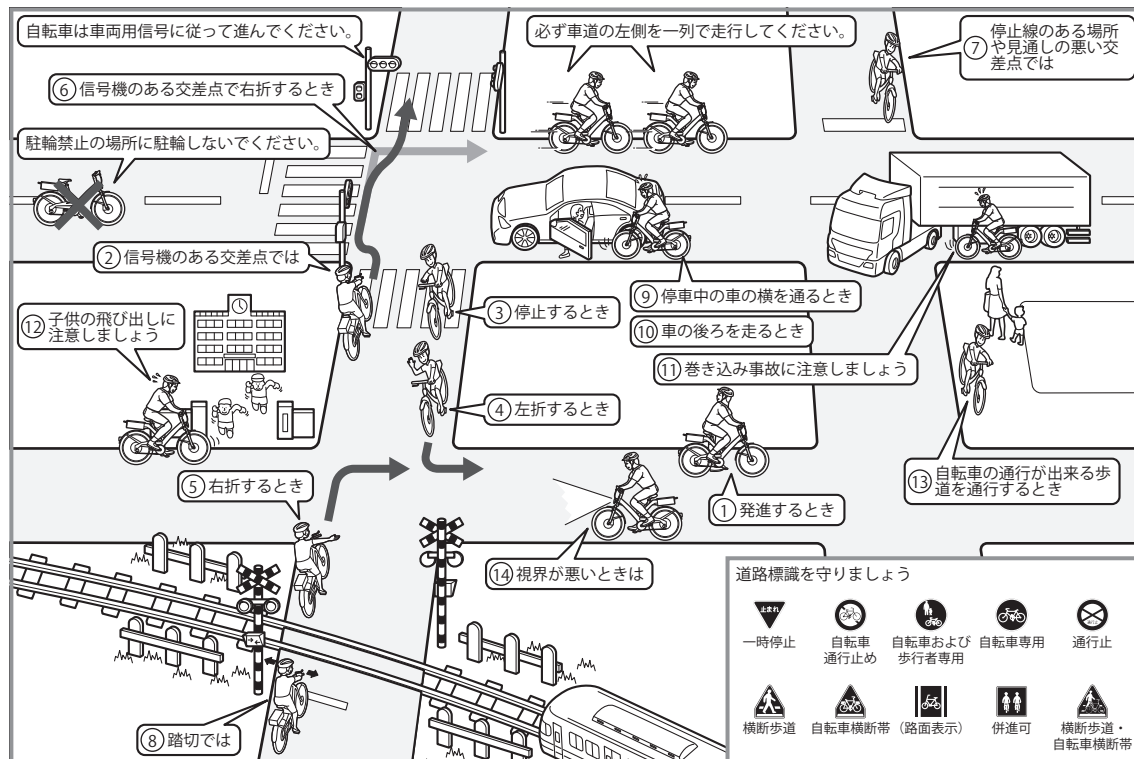
自転車専用

通行止

横断歩道

自転車横断帯（路面表示）

併進可

横断歩道・自転車横断帯

① **発進するとき**
前後左右の安全を確かめて、道路の左側から発進してください。

② **信号機のある交差点では**
車両用信号に従って進んでください。「歩行者・自転車専用」と表示されている信号機のある場合は、その信号に従ってください。

③ **停止するとき**
右腕を斜め下にして合図をしましょう。

④ **左折するとき**
右腕のひじを直角に上に曲げて合図をしましょう。また、速度を落としてから曲がってください。

⑤ **右折するとき**
右腕を水平に出し手のひらを下にして合図をして、道路の向こう側まで進んでから右折してください。

⑥ **信号機のある交差点で右折するとき**
正面の信号が青になったら向こう側までわたり、一旦止まります。次に右側の信号が青になってから進んでください。（2 段階右折）

⑦ **停止線のある場所や見通しの悪い交差点では**
一旦停止して左右の安全を確認してください。

⑧ **踏切では**
一旦停止して左右の安全を確認してください。

⑨ **停車中の車の横を通るとき**
急にドアが開いたり、車の陰から急に人が出てくることがありますので十分注意してください。

⑩ **車の後ろを走るとき**
車が急に止まったり、急に曲がったり、前方が見えにくかったりすることがありますので十分注意してください。また、安全な車間距離を保ってください。

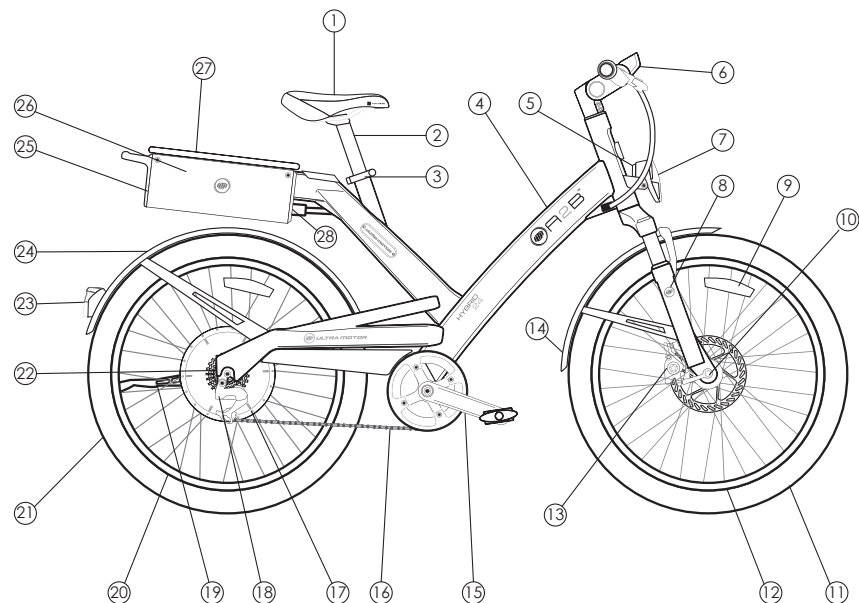
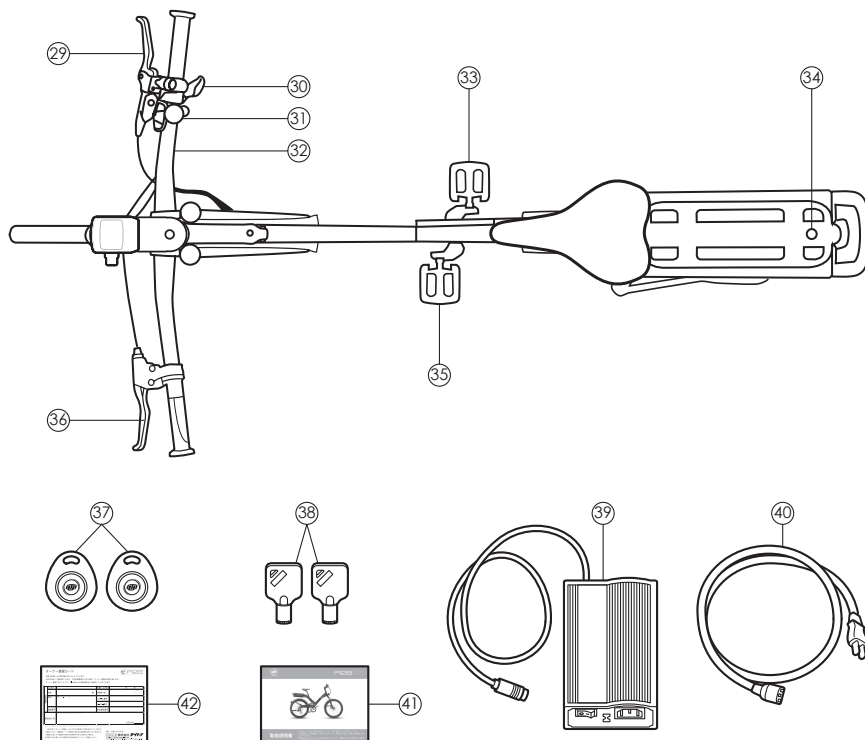
⑪ **巻き込み事故に注意しましょう**
左折する車のすぐ横は、巻き込まれるおそれがありますので注意してください。特に大型車には十分注意してください。

⑫ **子供の飛び出しに注意しましょう**
公園や学校の近くでは子供の飛び出しに十分注意してください。

⑬ **自転車の通行が出来る歩道を通行するとき**
車道寄りまたは「通行すべき部分」が示されている場合はその部分を徐行してください。歩行者の迷惑となる場合は自転車から降りて、自転車を押して歩きましょう。

⑭ **視界が悪いときは**
必ず前照灯をつけてください。また夕暮れどきは、周囲が完全に暗くなる前に早めにつけてください。

3.0　A2B について

3.1　構成部品

①	サドル	（P16、17、38）
②	シートポスト	（P16）
③	シートポストクイックリリース	（P16）
④	フレーム	
⑤	ライトスイッチ	（P28）
⑥	ディスプレイ	（P19、22~26、46）
⑦	ヘッドライト	（P28、38）
⑧	フロントフォーク	（P21）
⑨	スポークリフレクター	（P38）
⑩	クイックリリースレバー	（P39、42、43）
⑪	前輪タイヤ	（P39、41）
⑫	前輪リム	（P40）
⑬	フロントディスクブレーキ	（P38、41、45）
⑭	フロントマッドガード	
⑮	ペダル、クランク	（P38）
⑯	チェーン	（P41、45）
⑰	モーターハブ	（P49）
⑱	ディレーラー	（P27、45）
⑲	サイドスタンド	
⑳	後輪リム	（P40）
㉑	後輪タイヤ	（P39、41）
㉒	フリーホイール	
㉓	テールライト	（P28、38）
㉔	リヤマッドガード	
㉕	リフレクター（バッテリー部）	（P38）
㉖	バッテリー	（P31~37、39、46）
㉗	ラゲッジキャリア	（P29）
㉘	バッテリー接続コネクタ	（P32、33、35、36）

㉙	右ブレーキレバー（フロントブレーキを作動）	（P15、38、41）
㉚	シフトレバー	（P27）
㉛	ベル	
㉜	ハンドルバー	（P18、39）
㉝	右ペダル	（P38）
㉞	バッテリーロック	（P35）
㉟	左ペダル	（P38）
㊱	左ブレーキレバー（リヤブレーキを作動）	（P15、38、41）
㊲	電子キー（2 本）	（P22）
㊳	バッテリーロックのキー（2 本）	（P35、36）
㊴	充電器	（P31~34、46）
㊵	電源コード	（P32）
㊶	取扱説明書（本書）	
㊷	オーナー登録カード	（P49）

3.2　部品の交換やアクセサリーの取り付け

タイヤ交換や、部品、アクセサリーの取り付けは、その部品やアクセサリーが、A2B に適合していることをウルトラモーター正規代理店または株式会社デイトナに確認してから作業を行ってください。

部品やアクセサリーの取り付けは、付属の説明書をよく読んでから作業を行ってください。本書と部品やアクセサリーの指示が異なる場合は、ウルトラモーター正規販売店または株式会社デイトナまでお問い合わせください。

⚠警告

- すべての機械部品と同様に、自転車は摩耗したり大きなストレスを受けています。異なる材質や部品は、異なる摩耗やストレス疲労を示す場合があります。部品の設計寿命を過ぎると、突然の故障により死亡または重傷に至るおそれがあります。フレーム、フォーク、ハンドルのような大きなストレスを受ける部品に、亀裂、傷、変色がある場合は、その部品が寿命に達していることを示しています。その場合はすぐにウルトラモーター正規販売店で、損傷部品を交換してください。
- 交換する部品やアクセサリの互換性、組み付けが正しく出来ていること、正しく作動することを確認してください。そして部品やアクセサリの定期点検を実施してください。もし行わない場合は、死亡または重傷に至るおそれがあります。

⚠注意

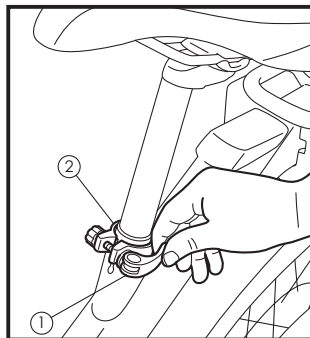
- 純正品以外の部品や交換部品を使用すると、A2B の安全性を損ない、保証を受けられなくなる可能性があります。
- ウルトラモーターが適合性、信頼性、安全性を試験していない可能性がある部品の交換や、アクセサリーの取り付けについては、使用者の自己責任となります。

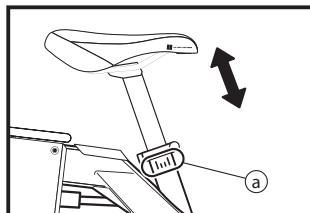
3.3　ブレーキレバーの調整

正しい姿勢でブレーキをかけることができない場合は、ウルトラモーター正規販売店でブレーキレバー角度の調整を受けてください。
または、以下の説明に従ってブレーキレバー角度を調整してください。

1. ブレーキレバーの下にあるボルトを適切な六角レンチでゆるめます。
2. 適切な角度に調整します。
3. ボルトを締め、ブレーキレバーを確実に固定します。ブレーキ自体の調整が必要な場合は、ウルトラモーター正規販売店で必要な調整を受けてください。

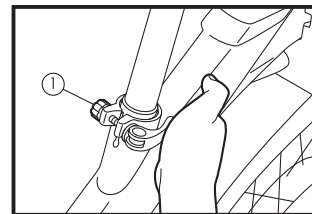
3.4　サドル高さの調整

サドルの高さは、お客様の体格に合わせて調整する必要があります。走行前にウルトラモーター正規販売店で調整を受けるか、以下の説明に従ってご自身でサドル高さを調整してください。

高さ調整

1. クイックリリースレバー①をシートポストから離れる方向に回して完全に開き、シートポストクイックリリース②をゆるめます。

2. サドルを希望の高さに調整します。

⚠注意

シートポストの、最小差し込み限界マークⓐが見える状態で乗らないでください。シートポストの破損や、転倒によるけがのおそれがあります。

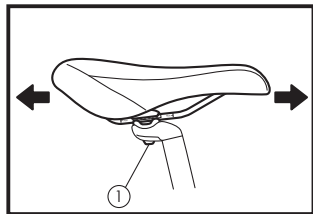
3. フレームを手でしっかりと握り、レバーが完全に閉じるまでフレーム側に押します。正しく調整されたレバーを閉じるために必要な力の目安は、手のひらにレバーの跡がつく程度が適切です。十分な力で閉じられたレバーは、逆の手順で再び開かない限り簡単には開きません。簡単に開いてしまう場合は、レバーを開いて調整ナットを 180° 締め込み、レバーを閉じて確認してください。それでも正しく閉じられない場合は、さらに調整ナット①を調整してください。

⚠警告

- シートポストが確実に固定されていないと死亡または重傷に至るおそれがあります。
- クイックリリースレバーを確実に閉じてレバーが突き出たままにしないでください。レバーが突き出たまま走行すると死亡または重傷に至るおそれがあります。

3.5　サドルの調整

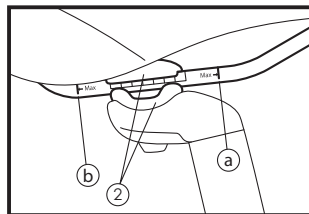
サドルは、お客様の体格に合わせて前後の位置を調整できます。また、お好みの乗り方に応じてサドルの角度を調整できます。以下の説明に従ってサドルを調整してください。

前後の調整

1. サドルクランプボルト①（サドルクランプとサドルレールを固定するボルト）をゆるめます。

2. 前後の位置を調整します。

⚠警告

サドルの前後位置を調整するとき、サドルクランプ②がサドルレールにある前後のマークⓐ、ⓑを超えないように調整してください。適切な範囲で調整されていないとシートポストやフレームに不適切に力が加わり、シートポストやフレームが破損し、死亡または重傷に到るおそれがあります。

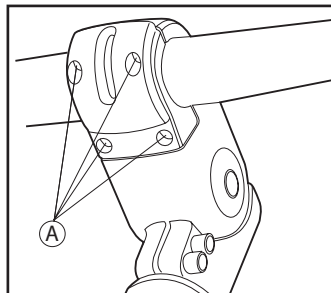
3. 角度を調整します。

要点

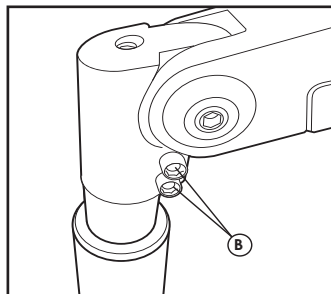
サドルの位置は、地面に対してサドル座面が水平になっている位置が基本です。水平を基準としてお好みの乗り方に応じてサドルの角度を調整してください。

4. サドルクランプボルトを 22 Nm のトルクで締めます。

⚠警告

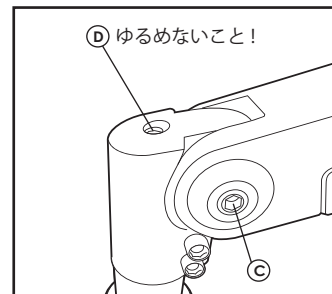
サドルが確実に固定されていないと死亡または重傷に至るおそれがあります。

3.6　ハンドルバーの調整

1. ディスプレイを取り外します（P19 参照）。
2. ボルトⒶを六角レンチでゆるめます。
3. ハンドルバーの中心とバーステムの中心を合わせ、バーステムを中心にしてハンドルバーの左右の長さが均等になるようにしてください。
4. ハンドルバーをお好みの角度に調整します。
5. ボルトを 5 Nm のトルクで均等に締めます。

3.7　バーステムの調整

バーステムの向きを合わせる

1. ボルトⒷを六角レンチでゆるめます。
2. バーステムと前輪の向きを合わせます。
3. バーステムと前輪の向きを合わせ、ボルトを 15 Nm のトルクで均等に締めます。

バーステムの角度調整

1. ボルトⒸを六角レンチでゆるめます。
2. バーステムをお好みの角度にします。
3. ボルトⒸを 17〜 18.5Nm のトルクで締めます。

⚠ 警告

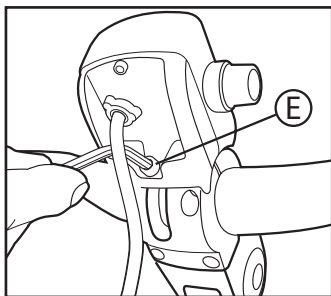
バーステムを正しく固定しないと、死亡または重傷に至るおそれがあります。

⚠ 注意

A2B はアヘッドステムを採用しています。上部のボルトⒹは 1 〜 2 Nm の荷重がかけられており、ハンドルバーステムを調整するものではありません。ボルトⒹを締めようとすると、ヘッドセットベアリングを損傷するおそれがありますので、ボルトⒹはむやみにさわらないでください。

ステアリングに遊びがないこと、ステアリングがスムーズに動くことを確認してください。

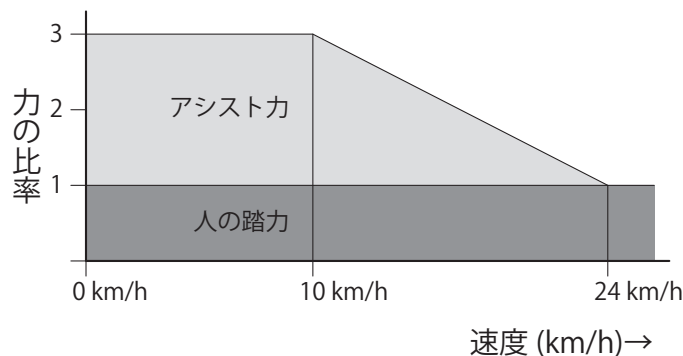
ヘッドセットベアリングの調整に関する情報は、ウルトラモーター正規販売店または株式会社デイトナにお問い合わせください。

3.8　ディスプレイの調整

1. ディスプレイ背面のボルトⒺを六角レンチでゆるめます。
2. ディスプレイをお好みの角度に調整します。
3. ボルトⒺを 6 Nm のトルクで締めます。

4.0　A2B を理解する

不明な点がある場合は、初回の走行までにウルトラモーター正規販売店または株式会社デイトナにお問い合わせください。

4.1　A2B の概要

A2B は純粋なペダルアシスト機能を採用しており、モーターは人がペダルを漕いでいるときにだけアシストを行います。そのため、ご自身の力で動く感覚を得ながらも、電動モーターによるアシストの快適性を感じることができます。
A2B はトルクセンサーを装備しており、ペダルを漕ぎ始めるとすぐにモーターがペダリングをアシストする駆動力が発生します。これにより、快適な走行を実現します。

法令によりアシストモーター出力は以下のように定められています。

1. 24 km/h 毎時未満の速度で、自転車を走行させる場合において、人の力に対する原動機を用いて人の力をアシストする力の比率が、下記の A または B に掲げる速度の区分に応じ、それぞれ A または B に定める数値以下であること。

区分	速度	人の力をアシストする力の比率
A	10 km/h 毎時未満	2
B	10 km/h 毎時以上 24 km/h 毎時未満	※力の比率＝2－$\frac{(速度－10)}{7}$

2. 24 km/h 毎時以上の速度で、自転車を走行させる場合において、原動機を用いて人の力をアシストする力が加わらないこと。

4.2　初めての乗車

1. ヘルメットを着用し、自動車や他の自転車、障害物、危険物などがない安全な場所を選んでください。
2. バッテリーが完全に充電されていることを確認してください。
3. 電子キーを使って電子システムの電源を入れます（P22 参照）。
4. サイドスタンドを上げて走行出来る状態にします。

⚠注意

サイドスタンドで支えられている状態の A2B には座らないでください。サイドスタンドや、フレームが損傷するおそれがあります。

5. A2B にまたがり、リラックスしてください。
6. アシストレベルをモード 1 に設定します（P24 参照）。
7. ペダルを漕いでアシストモーターの稼働を確認してください。
8. 低速でブレーキの機能を試してください。右ブレーキレバーでフロントブレーキが、左ブレーキレバーでリヤブレーキが作動します。

⚠警告

ブレーキを強くかけると車輪がロックして、コントロールを失い転倒し、死亡または重傷に至るおそれがあります。

要点

ブレーキレバーにはパワーカットオフスイッチが内蔵されています。ブレーキをかけているときは、モーターへの電源供給がオフになりペダルアシスト機能は作動しません。

9. A2B のハンドリングや反応を確認してください。ブレーキをかけて荷重が移動したときのフロントフォークの動きに慣れてください。
10. 各部の操作に慣れてきたらアシストレベルの変更を行い、各アシストレベルの性能を確認してください。

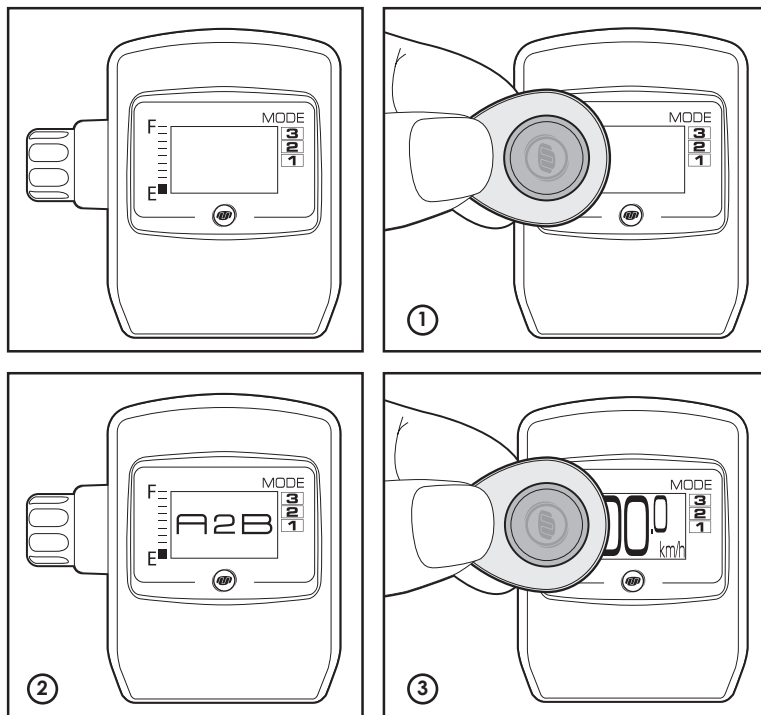
4.3 ディスプレイと電子キー

電子キーを使って A2B の電源をオン／オフする
A2B は電子キーで保護されています。

走行前に電子キーで、システムを起動させる必要があります。
A2B を 10 分以上動かさなかった場合、システムはオフに切り替わり（ライト含む）、スリープモードになります。
電子キーは自動車やドアの鍵と同じようなものとお考えください。電子キーを、普段お持ちの他の鍵と一緒にしておくことをお勧めします。

1. 電子キーをディスプレイの真上にかざします。
2. ディスプレイが光ります。A2B のロゴが表示されたら電子キーをディスプレイの上からはずします。
3. 走行が終わり、システムを終了させるには、電子キーをディスプレイの上にかざします。ディスプレイがオフになったら、電子キーをディスプレイから遠ざけます。これでシステムは停止状態になります。

要点

電子キーでシステムをオンにすることで、ディスプレイ、バッテリー、コントローラーがスリープモードから起動します。まれに、一度ですべての機器が起動しないことがあります（例えば、モーターアシストが起動しない）。その場合はいったんシステムをオフにして、再度起動させてください。

4.4　ディスプレイ ー 機能

機能とメニューの説明

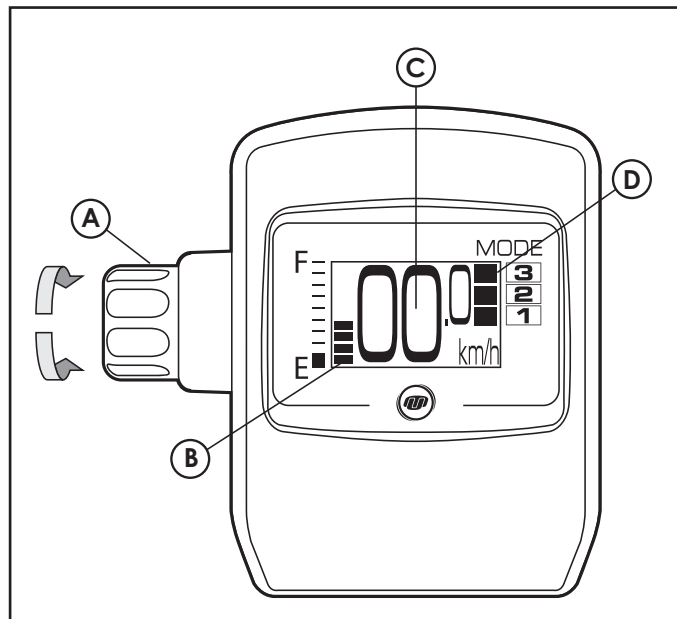
Ⓐ　設定ダイヤル
Ⓑ　バッテリー充電状態表示
Ⓒ　速度表示
Ⓓ　アシストレベル表示

設定ダイヤル

・ Ⓐの設定ダイヤルを回転させることによりアシストレベルの変更、ODO メーター、トリップメーター等の表示が可能です。

※ Ⓐ設定ダイヤルは回転方向以外に、押す方向に少し動きますがプッシュボタンの機能はありません。

⚠警告

走行中の操作は片手運転になり大変危険ですので行わないでください。

4.5　アシストレベルの事前選択

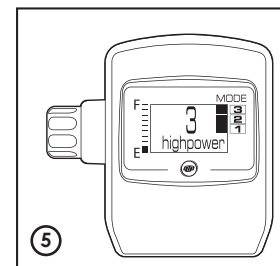
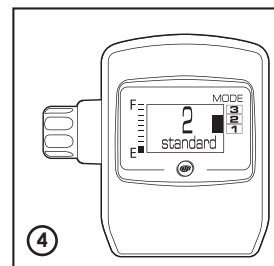
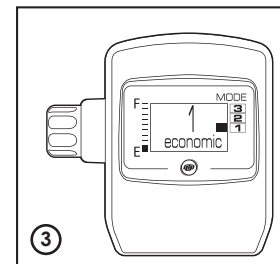
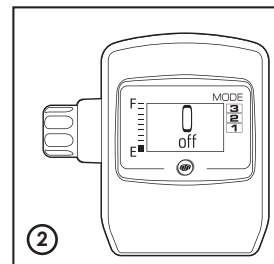
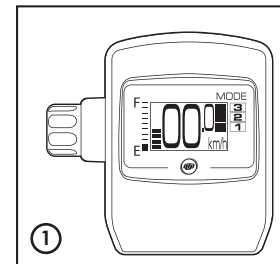
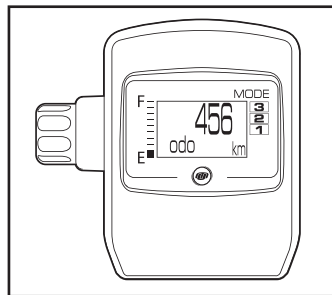
アシストレベルは、3 つのモードから選択することができます。実際に選択されているアシストモードは、ディスプレイの右上に表示されます。

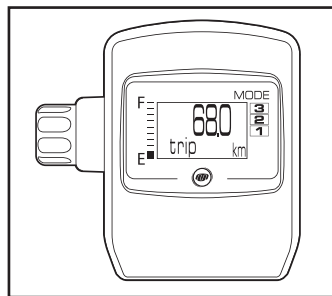
好みのアシストレベルを選択するには、ディスプレイの設定ダイヤルを回してください（方向はどちらでも構いません）。好みのアシストレベルを選択すると約 2 秒で標準画面に戻り、ディスプレイの右上に選択したアシストレベルが表示されます。

ディスプレイの概要

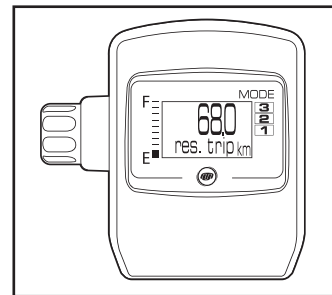
1. 標準状態のディスプレイ
2. **モード 0** ― パワーアシストなし。すべてのディスプレイ機能は作動します。
3. **モード 1** ― 最小限のパワーアシスト。バッテリー電力を節約し、アシスト距離を最大限に伸ばしたい場合に最適です。
4. **モード 2** ― 標準的なパワーアシスト。標準的なパワー、平均的なアシスト距離です。
5. **モード 3** ― 最大限のパワーアシスト。アシスト距離は短くなります。

要点

アシストレベルの変更は停止状態で行ってください。
ペダルを漕いでいる状態で操作すると、安全のためアシストしなくなることがあります。

4.6 オドメーター（キロメーター表示）への切り替え

ノブボタンを「odo」が表示されるまで回します（方向はどちらでも構いません）。

4.7 トリップメーターへの切り替え

ノブボタンを「trip」が表示されるまで回します（方向はどちらでも構いません）。

4.8 トリップメーターのリセット

ノブボタンを「res. trip」が表示されるまで回します（方向はどちらでも構いません）。そのまま4秒待ちます。トリップメーターがリセットされ、トリップメーター表示に戻ります。

4.9　エラーコード

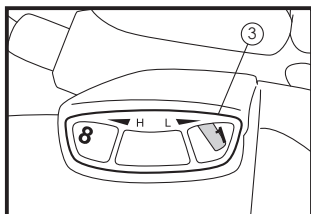
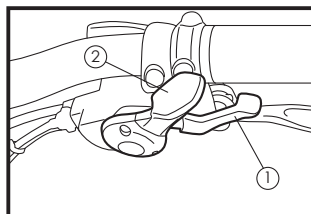
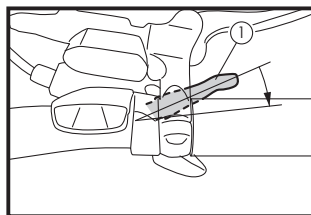
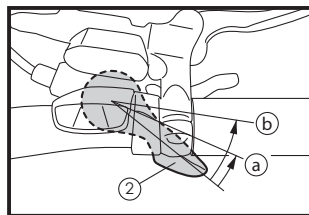
異常が発生した場合、警報サイン「！」と以下のいずれかのエラーコードがディスプレイに表示されます。

01 HARDWARE_Brake_SET: ハードウェア過電流
02 RECUPERATION: 再生ブレーキ異常
03 FAST_OVER_VOLTAGE: 高速過電圧
04 FAST_UNDER_VOLTAGE: 高速電圧不足
05 SLOW_OVER_VOLTAGE: 低速過電圧
06 SLOW_UNDER_VOLTAGE: 低速電圧不足
07 OVER_TEMP_135: モーター温度 135℃超過
08 OVER_TEMP_INT: コントローラー過熱
09 CORRUPT_HALL_VALUE: モーター信号異常
10 WRONG_HALL_ORDER: モーター回転方向異常
11 適用なし
12 RECOVER_WHILE_DRIVE: 走行中リセット
13 I_OFFSET_OVER_LIMIT: 電流オフセット過大
14 I_OFFSET_UNDER_LIMIT: 電流オフセット過小
15 TORQUE_OFFSET_OVER_LIMIT: トルクオフセット過大
16 TORQUE_OFFSET_UNDER_LIMIT: トルクオフセット過小

要点

エラーメッセージは異常が解消すると自動的にリセットされます。エラーメッセージが消えない場合は、ウルトラモーター正規販売店または株式会社デイトナにお問い合わせください。

4.10 ギヤ

A2B は、8 段変速のディレーラーを装備しています。
ハンドルバー右側にある 2 つのシフトレバー①、②を操作して変速します。
一定のペースでペダルをこいだとき、走行条件にもっとも適したギヤを選択してください。選択しているギヤは、ギヤポジションインジケーター③で確認できます。
より速く走行するには（平坦路や下り坂）シフトレバー①でシフトアップ、ペダリングを楽にするには（上り坂にさしかかったとき）シフトレバー②でシフトダウンを行ってください。

シフトアップするには
シフトレバー①を 1 回引くごとに 1 段ずつ大きなギヤから小さいギヤへ変速します。

シフトダウンするには
シフトレバー②を次の 2 つの方法で操作します。

1 段ずつ変速したい場合：
ⓐの位置まで 1 回押すごとに 1 段ずつ小さなギヤから大きなギヤへ変速します。

一度に複数段変速したい場合：
ⓑの位置まで 1 回押すごとに下記の順に変速します。
8 速→ 5 速　5 速→ 2 速　2 速→ 1 速

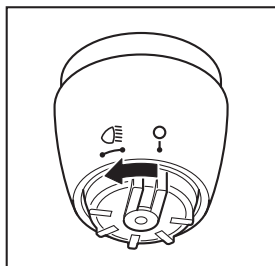
警告

ギヤの変速中は、絶対にペダルを逆回転させないでください。チェーンがはずれてコントロールを失い、死亡または重傷、物的損害に至るおそれがあります。ギヤを変速する場合は、必ず一定のペースでペダルを正転させてください。

要点

ギヤは、モーターのアシスト量に関係なく変速可能です。

4.11 ライト

ヘッドライトとテールライトは連動して点灯します。
ライトを点灯するときは、ヘッドライトの背面にあるライトスイッチを " " に、消灯するときはライトスイッチを " ○ " にしてください。

要点

- ライトは、A2B の電源がオンになっているときのみ点灯します。
- バッテリーの残量が完全に無くなると A2B の電源がオンにならないため、ヘッドライトとテールライト共に点灯しなくなります。バッテリー残量が少ない状態での夜間走行はおやめください。
- ライトスイッチの点灯位置 " " は、二段階の設定が可能になっていますが、どちらに設定しても機能に変わりはありません。

⚠ 警告

走行中の操作は片手運転になり大変危険ですので行わないでください。

4.12 ラゲッジキャリア

A2B は耐久性のあるラゲッジキャリアを装備しています。A2B で荷物などを運ぶ必要がある場合は、以下の説明をよく読んでラゲッジキャリアを使用してください。

1. ラゲッジキャリアは A2B のラックチューブに T25 × 18 のトルクス皿ねじ 4 本で取り付けられています。ラゲッジキャリアを頻繁に使用する場合は、このねじが 6 ～ 8 Nm のトルクで確実に固定されていることを常に確認してください。
2. 最大積載可能重量は 10 Kg です。

積載物の大きさ限度	
幅	キャリアの左右それぞれ 15 cm
長さ	キャリア後端から 15 cm
高さ	キャリアから 30 cm

3. 走行中に落下することがないよう、荷物が確実に固定されていることを確認してください。走行中に紐などが緩んでスポークや車輪に巻き込まれることがないよう注意してください。
4. ラゲッジキャリアは、二人乗りやチャイルドシートを取り付けるためのものではありません。また、トレーラーを牽引するために使用することもできません。
5. A2B の許容荷重を超えてはなりません（P47 参照）。
6. いかなる場合であってもラゲッジキャリアを改造しないでください。
7. 荷物などの重量がラゲッジキャリア両側に均等にかかるように積んでください。
8. ラゲッジキャリアに荷物を載せているときは、カーブを曲がるときやブレーキをかけるときに、A2B の挙動が変わる場合があります。
9. ラゲッジキャリアに荷物を載せたときは、荷物でテールライトとリフレクターを遮らないようにしてください。
10. バスケットやサイドバッグなど、ウルトラモーター純正アクセサリーのご利用をお勧めします。

⚠ 警告

上記の指示に従わないと、死亡または重傷に至るおそれがあります。

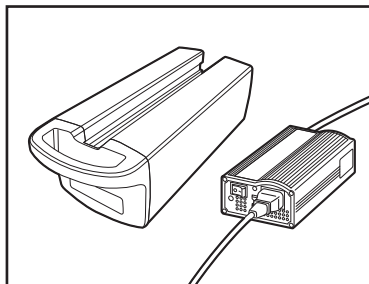
4.13 アシスト距離

アシスト距離に影響する要因として、以下が挙げられます。

- ペダルアシストモード
- バッテリーの充電状態
- 速度に適したギヤの使用
- タイヤの空気圧
- 前輪のホイールベアリングと両ブレーキ（ベアリングの回転が渋い場合やブレーキパッドの引きずりがある場合はアシスト距離が短くなります）
- 乗る人の体重（体重が重いほど加速に必要なエネルギーは大きくなります）
- 走行速度と風の条件（強い向かい風に対して強くペダルを漕ぐとアシスト距離が短くなります）
- 地形（軟らかい地面や上り坂の走行は、より大きなパワーを消費します）
- 停止と発進の回数（静止状態から全力で発進するときが、バッテリーの電気を最も多く消費します）

アシスト距離を伸ばすには

- 走行前にバッテリーを完全に充電してください。
- 定期的にタイヤの空気圧を点検し、前後のタイヤに 280 kPa（2.8 kg/cm^2）まで空気を入れてください（P39 参照）。
- 定期的に A2B を点検し、ホイールベアリングが抵抗なく回転することと、ブレーキをかけていないときに両方のブレーキローターがブレーキパッドに引っかかっていないことを確認してください。
- 積載重量を最小限にしてください。
- ゆっくり走行してください。
- できるだけエコノミーモード（モード 1）を使用しペダルを漕ぐことでモーターをサポートしてください。
- チェーンとディレーラーの潤滑状態を維持してください。

5.0 バッテリーの使用方法、保管、廃棄

5.1 バッテリーと充電器

⚠注意

- バッテリーは必ず A2B に付属のもの、またはウルトラモーターが A2B 用交換品として提供しているものを使用してください。それ以外のバッテリーを使用すると、保証が受けられなくなります。また、電気系統およびモーターを損傷するおそれがあります。
- バッテリーを他の車両や機器で使用したり、強い衝撃や振動を与えたり、端子を短絡させたりしないでください。不適切に使用すると保証が受けられなくなります。
- バッテリーを高熱／火炎のそばで保管することや、日光に長時間当てないでください。不適切に使用すると保証が受けられなくなります。
- 充電器はバッテリーに付属のもの以外は使用しないでください。不適切に使用すると保証が受けられなくなります。
- バッテリーに付属の充電器は屋内使用専用です。
- 水など液体との接触を避けてください。バッテリーまたは充電器、あらゆる接続部が濡れた場合は、すぐに充電器のプラグを抜いて、すべての機器を完全に乾かしてから使用してください。

5.2　バッテリーの充電

初回使用の前に 12 時間充電を行ってください。

1. 充電器の電圧切り替えスイッチを確認して、切り替えスイッチが 115V 側になっている事を確認してください。
2. 充電器がオフになっていることを確認して、付属の電源コードを充電器に差し込みます。
3. 電源コードを家庭用コンセント（商用 100V 電源接地付コンセント）に差し込みます。

※ 接地付きコンセントが無い場合は、市販の接地アダプター⑤等を使用し確実に接地を行ってください。
※ 50Hz、60Hz 共に使用できます。

4. コネクタのピンの位置を揃えて充電ソケットに差し込み、充電器とバッテリーを接続します。

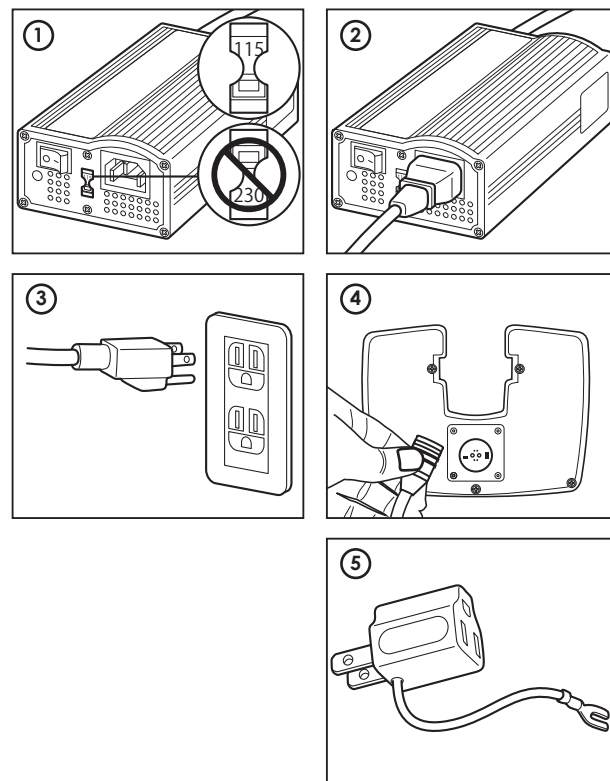
要点

販売店にて機能確認及びバッテリー性能保持のため初回充電を行っている場合があります。
販売店にて初回充電が完了している場合は通常の充電を行ってください。

⚠注意

12 時間以上充電を行わないでください。

⚠警告

接地を確実に行わないと、漏電による感電や火災の恐れがあります。

5. オン／オフスイッチを切り替えて充電器をオンにします。
6. LED は以下の内容を示します。

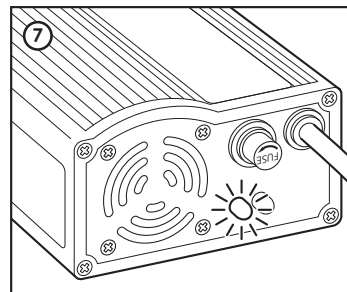
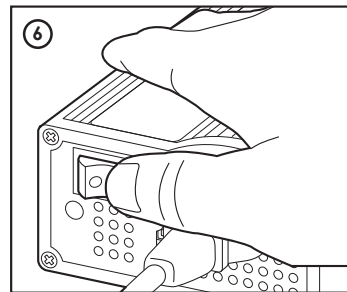
・ 充電器のプラグをコンセントに差し込み、スイッチをオンの位置にすると、LED が赤く点灯します。
・ バッテリーを充電しているときは、LED がオレンジ色に点灯します。
・ バッテリーが完全に充電されると LED が緑色に点灯します。

7. 充電が完了したら（LED が緑色に点灯）、オン／オフスイッチを切り替えて充電器をオフにします。
8. 充電器のプラグをコンセントから抜き取り、充電ソケットからコネクタを抜いてバッテリーと充電器を切り離します。
9. これでバッテリーの使用準備は完了です。

要点

充電器のスイッチがオンの状態でバッテリーを接続すると、バッテリーの充電は行われません。

⚠ 注意

・ 12 時間以上充電を行うとバッテリーが放電します、充電が終わったらすぐに充電器をオフにし、コネクタを抜いてバッテリーと充電器を切り離してください。
・ 回路に異常が発生した場合、ヒューズが切れることがあります。その場合は、新しいヒューズ（10 A）と交換してください。交換してもすぐにヒューズが切れる場合は使用を中止し、ウルトラモータ正規販売店へ点検、修理をご依頼ください。

5.3　バッテリー充電と充電器の特徴

充電時間	**時間**
バッテリー初回使用前	12
完全放電状態のバッテリー	3 ～ 4

バッテリーの寿命を伸ばすには、毎回の使用後できるだけ早くバッテリーを充電してください。

充電器とバッテリーを接続した状態で充電器を 12 時間以上オンのまま放置しないでください。バッテリーが完全に充電されたら、充電器をオフにして、バッテリーから切り離してください。

気温が 0℃よりも低い、または 40℃よりも高い場合は充電を行わないでください。可能な限りバッテリーの充電は室温で行ってください。
充電に最適な温度は約 15 ～ 25℃です。

放電バッテリーの充電
モーターコントローラーとバッテリーマネジメントシステム（BMS）は､バッテリーの電圧が規定値よりも低下すると､バッテリーを過放電による悪影響から保護するため、モーターへの電力供給を止めるように設計されています。

電圧低下によって電力供給が止まった場合は、3 日以内に付属の充電器とバッテリーを接続して充電を行ってください。完全に放電したバッテリーを満充電するには 3 ～ 4 時間かかります。

バッテリーまたはその使用方法についての疑問がある場合は、ウルトラモーター正規販売店または株式会社デイトナにお問い合わせください。

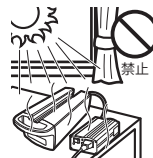
⚠ 注意

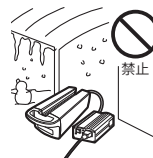
BMS によってバッテリーからの電力供給が止められた場合、そのバッテリーに残っている電力の使用を試みることは絶対にしないでください。過放電によりバッテリーが損傷します。

- 充電に適した場所

日陰ですずしく、風通しのよい場所

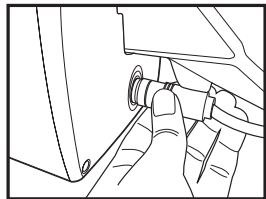
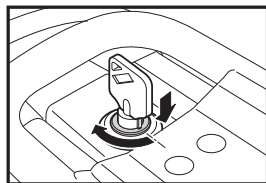
夜間でも 0 ℃以下にならないあたたかな場所

- 充電に適さない場所

直射日光が当たる場所での充電

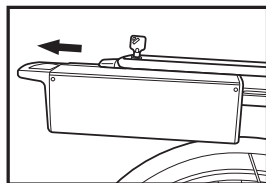
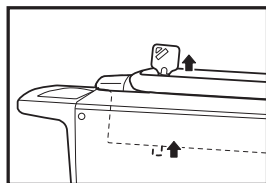
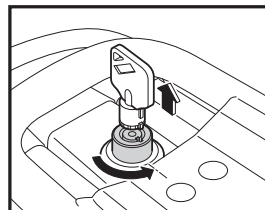
ストーブやこたつなどの暖房器具の近くでの充電

冬の屋外、または物置などの寒い場所

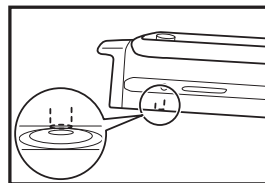
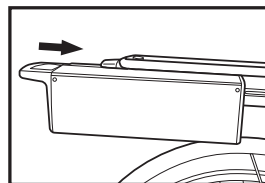
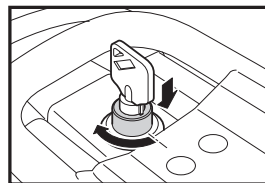
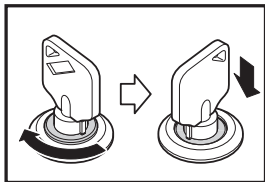
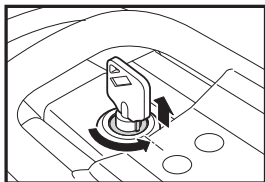
雨 の当たる場所や砂埃の多い野外など

5.4　バッテリーの取り外し／取り付け

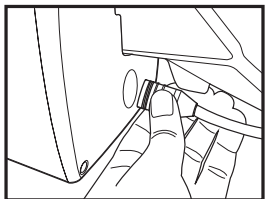
バッテリーの取り外し

1. バッテリー接続コネクタを取り外します。

2. バッテリーロックのキーを差し込み、押しながら時計方向に回してロックを解除します。

要点

バッテリーロックのシリンダーが上がります。（バッテリーを固定しているピンが解除されます）

3. バッテリーを外します。

4. ロックシリンダーを押し込まないで、元の位置まで反時計方向に回します。
5. キーを抜きます。

バッテリーの取り付け

1. バッテリーロックのシリンダーが上がっていて、バッテリーを固定するピンが突き出していないことを確認します。

2. バッテリーを取り付けます。

3. キーを差し込み、ロックシリンダーを押し込みながら時計方向に回します。

4. キーをさらに 1 段押し込める位置まで、さらに時計方向に回します。

5. キーを押し込んだまま、元の位置まで半時計方向に回し、キーを抜きます。

要点

キーシリンダーが下がった状態となっていること、バッテリーが外れないことを確認してください。

6. コネクタとバッテリーのソケットのピンとタブの位置を合わせ、コネクタを接続します。

バッテリーの充電は、充電状態とは関係なくいつでも行うことができます。バッテリーは年数が経つとともに、徐々に容量が低下します。適切なケアとメンテナンスを行えば、バッテリーは 500 充放電サイクルにわたって、容量の 80%を維持します。容量が少なくなってくると、最大アシスト距離が少しずつ短くなります。アシスト距離が許容できないレベルまで短くなったときは、ウルトラモーター正規販売店にて交換用バッテリーをお買い求めください。

⚠ 注意

バッテリー接続ソケットには強力なマグネットを使用しています、接続前に異物が付着していないことを確認してください、またカード等磁気に弱い物を近づけないでください。

5.5　バッテリーの保管

バッテリーを車体から切り離し、直射日光が当たらない、乾燥した涼しい場所 10 〜 21° C で保管してください。

保管時の補充電	時間
バッテリー保管前の半充電	1.5
保管期間 90 日ごとの半充電	1.5

※ 暖房器具の近くや自動車内など高温になる場所にバッテリーを放置しないでください。

⚠ 注意

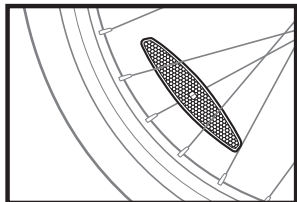
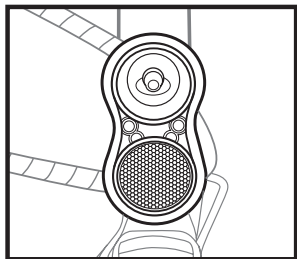
これらの充電に関する指示事項に従わないと、保証を受けられなくなります。

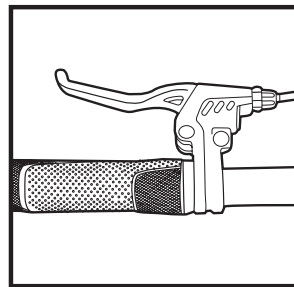
5.6　バッテリーの廃棄

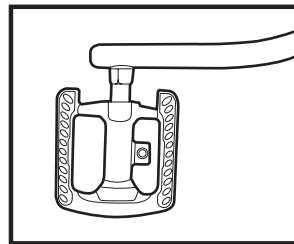
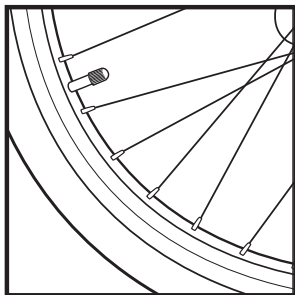
⚠ 注意

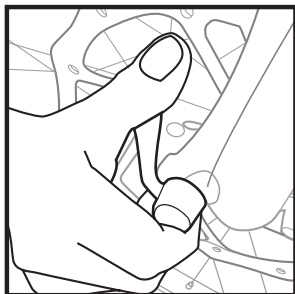
バッテリーを家庭ごみとして廃棄しないでください。廃棄物処理法や地方自治体の条例に従って廃棄またはリサイクルするか、ウルトラモーター正規販売店または株式会社デイトナにお問い合わせください。

6.0　走行前の点検

毎回の走行前に、ブレーキ、タイヤを点検し、すべての重要な固定部分に緩みがないことを確認してください。

リフレクター A2B にはリフレクターが装備されており、夜間の被視認性を高めています。毎回の走行前に、リフレクターが正しい向きで確実に取り付けられており、破損や汚れがないことを確認してください。

ライト A2B にはヘッドライトとテールライトが装備されており、夜間の被視認性を高めています。毎回の走行前に、ライトが確実に機能すること、汚れていないことを確認してください。

ブレーキ 毎回の走行前にブレーキを点検してください。右ブレーキレバーはフロントブレーキを、左ブレーキレバーはリヤブレーキを作動させます。

ブレーキパッド ブレーキを点検するときは、ブレーキ系統すべてを点検することが重要です。ブレーキパッドは通常使用していても摩耗が進みます。ブレーキパッドが限界まで摩耗する前に、ウルトラモーター正規販売店にブレーキパッドの点検と交換を依頼してください。

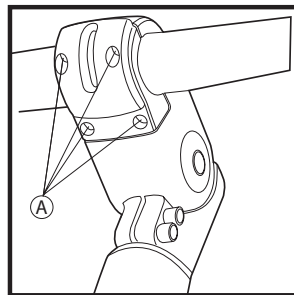
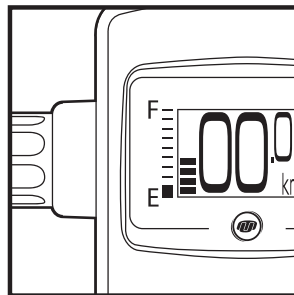
ペダル 毎回の走行前に、ペダルが正しく取り付けられていること、緩みがないことを確認してください。

サドル 毎回の走行前に、サドルが適切に調整されていること、確実に固定されていることを確認してください（P16、17 参照）。

タイヤ空気圧 A2B はヘビーデューティーインナーチューブを装備しており、パンクを予防しています。しかし通常自転車のタイヤは時間とともに空気圧が低下します。
タイヤの空気圧が低いと、タイヤの摩耗が早期に起こる可能性があるとともに、必要な推進エネルギー（電気的および人的エネルギー）が大幅に増加します。また、アシスト距離が大幅に短くなります。

推奨タイヤ空気圧 前後輪：280 kPa (2.8 kg/cm^2)

クイックリリース A2B の前輪には脱着を容易に出来るクイックリリース機能を備えています。前輪のクイックリリースが正しく調整され、緩みがないことを確認してください。

⚠ 警告

前輪クイックリリースが適切に調整されていない、またはロックされていない状態で走行しないでください。走行中に前輪が脱落し、死亡または重傷、物的損害に至るおそれがあります。

ハンドルバーとステアリング
ハンドルバーおよびステム（P18参照）のボルトが適切なトルクで締まっていることを確認してください。

ハンドルバークランプの 4 本のボルトⒶは 5 Nm のトルクで締められていなければなりません。
※ ハンドルバークランプの締め付けにはディスプレイユニットの取り外しが必要です。

バッテリー 出発前にディスプレイを確認して、バッテリーが走行予定に対して十分に充電されていることを確認してください。

A2B の組み立て、使用、お手入れに関して不明点がある場合は、ウルトラモーター正規販売店または株式会社デイトナにお問い合わせください。

7.0　定期点検・整備

いつまでも安全にお乗りいただくために、定期点検・整備を実施してください。また変形、損傷のある部品を発見した場合はや、異常を感じたときは、ただちにウルトラモーター正規販売店で点検・整備を受けてください。

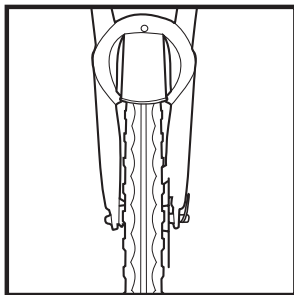
7.1　初回（2 か月以内）の点検・整備

お買い上げ 2 ヶ月位のご使用で、各部にねじの緩みが発生する場合があります。必ずウルトラモーター正規販売店で点検・整備を受けてください。

7.2　2 か月目以降（6 か月ごと）の点検・整備

A2B を安全にお乗りいただくために、6 か月に一度、ウルトラモーター正規販売店で点検、整備を受けてください。

⚠注意

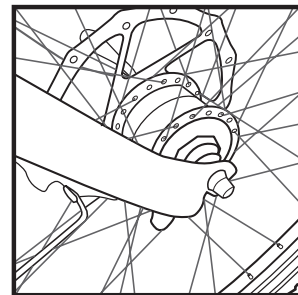
指定された定期点検を受けていない場合、ウルトラモーターの保証を受けられないことがあります。

7.3　車輪

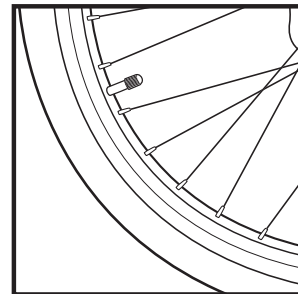
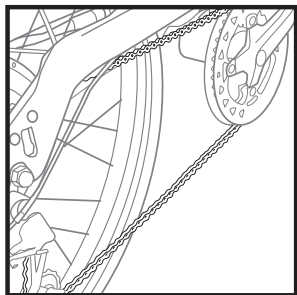
前後輪はフォークおよびフレームの中央になければなりません。スポークの張りとリムのアライメントについて定期的に点検を受けることを推奨します。
車輪は上下または左右の振れなくスムーズに回転しなければなりません。

⚠警告

スポークが折れているまたはなくなっている場合は走行しないでください。死亡または重傷に至るおそれがあります。

7.4　ハブベアリング

ハブベアリングの調整を定期的に点検してください。点検は、車輪を地面から持ち上げて回転させ、リムをフォークまたはフレームの間で横方向に押したとき、リムが横方向に動きがないことを確認してください。
前後いずれかの車輪で横方向の動きが認められた場合は、ハブベアリングを調整または交換してください。

7.5　リム

リムは平滑で、亀裂や膨れ、フラットスポットがない状態でなければなりません。必要な場合は、ウルトラモーター正規販売店に持ち込み、車輪の修理または交換を受けてください。

7.6 チェーン

チェーンは、定期的な清掃と自転車用チェーンオイルの注油が必要です。

7.7 ブレーキ

ケーブルに摩耗やほつれの兆候がないか点検してください。レバーを強く握り、ブレーキが正しく機能することを確認してください。
ブレーキディスクおよびブレーキパッドに、異物や油、グリスが付着していないことを確認してください。
ブレーキパッドが限界まで摩耗する前に交換してください。
ブレーキパッドに摩耗の兆候が見られる場合や、ブレーキの反応が以前と異なる場合は、ウルトラモーター正規販売店にブレーキパッドの点検と交換を依頼してください。ブレーキは濡れていると効きが悪くなります。

⚠ 警告

- 雨天時の走行では、停止までの距離が長くなります。ゆっくりと走行し、他の交通との距離を十分にとり、普段よりも早めにブレーキをかけてください。このような注意を怠ると、死亡または重傷、物的損害に至るおそれがあります。
- ブレーキオイルは、異常がなくても 2 年に 1 回交換してください。
- ブレーキライニングの残りが 0.5 mm になる前に交換してください。

あらゆる条件下でのブレーキの状況に何らかの不安がある場合は、ウルトラモーター正規販売店または株式会社デイトナにお問い合わせください。

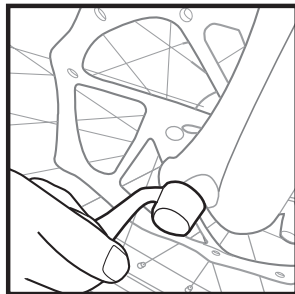
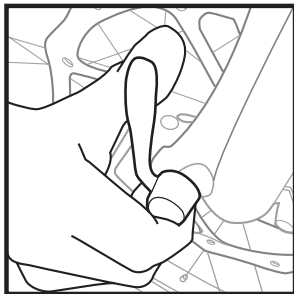
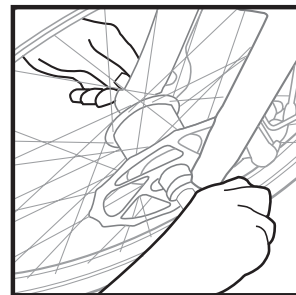
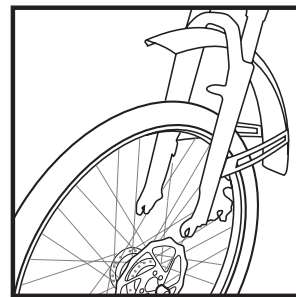
7.8 タイヤ

タイヤに損傷、亀裂、異常または過度の摩耗がないか点検してください。
タイヤはリムに適切に装着されていなければなりません。タイヤのビードがリムに正しくはまっていることを定期的に点検してください。
タイヤのトレッドに異物がないか点検し、リムのバルブステムがまっすぐであることを確認してください。
損傷、摩耗したタイヤは、すぐに交換する必要があります。A2B をウルトラモーター正規販売店に持ち込み、修理または交換を依頼してください。
タイヤ交換を行う場合は、指定されたサイズのタイヤ以外装着しないでください。
交換部品をお求めの際はウルトラモーター正規販売店又は株式会社デイトナにお問い合わせください。

7.9　車輪の取り外しと取り付け

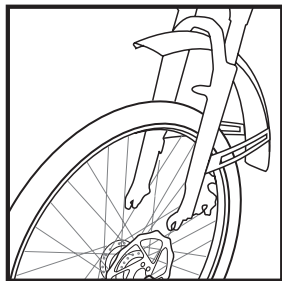
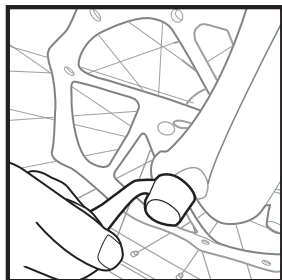
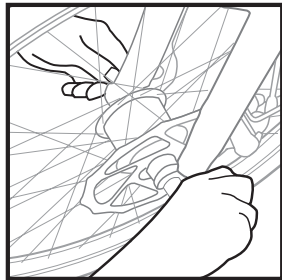
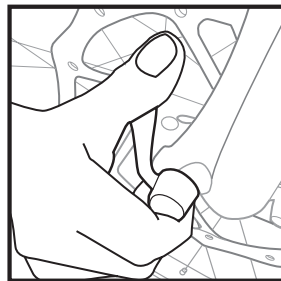
A2B はクイックリリースフロントハブを装備し（前輪のみ）、車輪の取り外しと取り付けが容易にできます。クイックリリース機構の説明に従い、正しく使用してください。

前輪の取り外し

1. クイックリリースレバーをハブから離れる方向に回して完全に開き、クイックリリースフロントハブをゆるめます。

2. クイックリリースレバーの方向から見て、ハブの反対側にある調整ナットを、ナットとクイックリリースレバーがフォーク先端の脱落防止の出っ張りを越えるまで反時計回りに回します。

3. 前輪を車体から取り外します。

⚠警告

クイックリリースフロントハブを不適切に取り付けると、走行中に前輪が脱落し、死亡または重傷、物的損害に至るおそれがあります。A2B の組み立てや調整に少しでも不安がある場合は、ウルトラモーター正規販売店または株式会社デイトナにお問い合わせください。

前輪の取り付け

1. クイックリリースレバーがフロントフォークの左側になるように、車輪をフロントフォークの間に置きます。

2. クイックリリースレバーを開いた状態（レバーの曲がりがハブから離れる方向になっている状態）にして、アクスルがフォークエンドの奥に入るように車輪をフロントフォークにセットします。

3. ハブの右側にある調整ナットを時計回りに回し、レバーを閉じるとき、レバーがハブの中心線と平行になる位置で抵抗を感じるようにします。

4. 左手でフォークをしっかりと握り、レバーが閉じるまでフロントフォーク側に押します。正しく調整されたレバーを閉じるために必要な力の目安は、手のひらにレバーの跡がつく程度が適切です。閉じた状態では、レバーの「OPEN」の表示が見えなくなります。十分な力で閉じられたレバーは、逆の手順で再び開かない限り簡単には開きません。簡単に開いてしまう場合は、レバーを開いて調整ナットを 180°締め込み、レバーを閉じて確認してください。それでも正しく閉じられない場合は、さらに調整ナットを調整してください。

5. ブレーキディスクがブレーキキャリパーに正しく収まっていること、正しく調整されていることを確認してください。

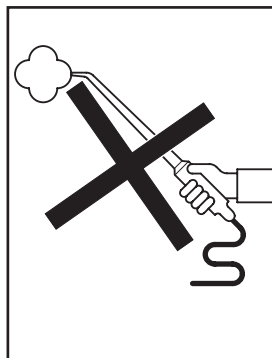
このブレーキのセットアップ・調整手順に不安がある場合は、A2B をウルトラモーター正規販売店に持ち込みブレーキの調整を受けてください。

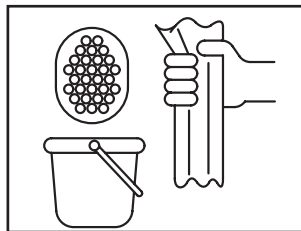
※ 後輪の脱着作業に関してはウルトラモーター正規販売店にご依頼ください。

⚠ 警告

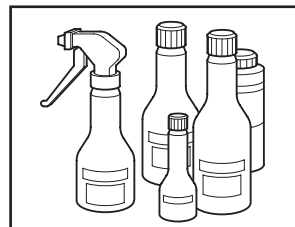
- 適切に調整されていないブレーキは、ブレーキ性能低下の原因となり、死亡または重傷、物的損害に至るおそれがあります。ブレーキの正しい機能を確信できない場合は、A2B に乗らないでください。
- クイックリリースレバーを確実に閉じてレバーが突き出たままにしないでください。レバーが突き出たまま走行すると死亡または重傷に至るおそれがあります。

8.0　お手入れ

8.1　洗車

⚠注意

- ゴム部品およびプラスチック部品は、苛性洗剤や浸透性洗剤、溶剤を使用しないでください。ゴム部品およびプラスチック部品が損傷するおそれがあります。
- スチーム洗浄機や高圧洗浄機は使用しないでください。そのような装置を使用すると、シールやバッテリー、電気系統が損傷するおそれがあります。
- 洗車後は走行前に必ずブレーキが効くことを確認してください。

A2B を洗うときは柔らかいスポンジときれいな水を使用してください。
洗車後はセーム皮などで水分を除去して完全に乾かしてください。

⚠注意

ペイントや被膜の傷を防止するために、ほこりや汚れを乾いた布で拭き取らないでください。

長距離走行後は、A2B をよく洗い、市販のワックスをベースとする防錆剤で部品を錆びから保護してください。

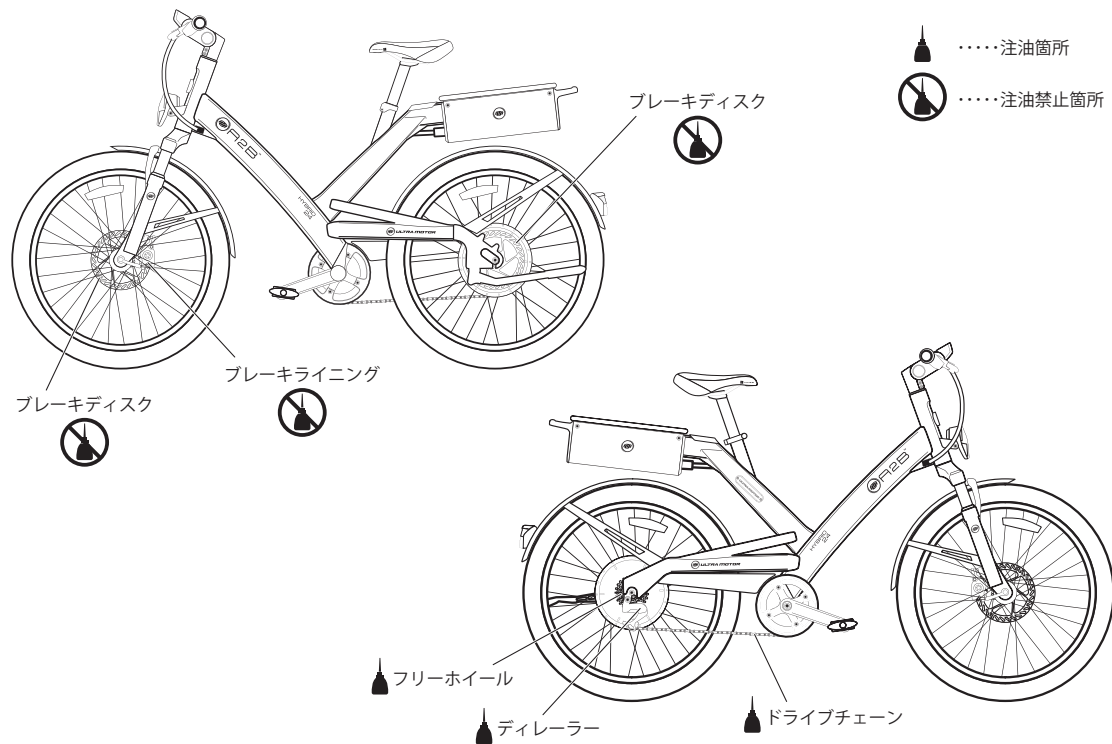
⚠注意

- プラスチック部品には絶対に塗装研磨剤を使用しないでください。
- 環境負担の小さい保護剤を適量のみ使用し、環境保護を心掛けてください。

⚠注意

- 冬季に A2B を使用すると、道路に撒かれている塩分によって大きな損傷を受けるおそれあります。
- 塩分を除去するのに、温水は使用しないでください。塩分の影響を大きくするおそれがあります。塩分を除去するときは冷たい水で洗ってください。
- A2B を完全に乾かして、ワックスをベースとする防錆剤で部品をさびから保護してください。

8.2　給油箇所と給油禁止箇所

給油は自転車用チェーンオイルなどを使用してください。
注油は指定された箇所へ、定期的に少量給油してください。

9.0　トラブルシューティング

A2B が正常に作動しない場合は、以下の解決方法を参照してください。問題が解消されないときは、ウルトラモーター正規販売店または株式会社デイトナにお問い合わせください。

問題	考えられる原因	解決方法
A2B の電源がオンにならない	1. バッテリーが充電されていない	バッテリーを充電してください（P32~34 参照）。
A2B の電源はオンになるが、モーターが動かない（ディスプレイが点灯し、充電状態の表示にはバッテリー残量が十分であることが示されている）	1. ブレーキをかけている	発進時はブレーキをかけないでください。ブレーキレバーがいっぱいまで前に戻っていることを確認してください。
	2. アシストなしが選択されている	アシストレベルを選択してください（P24 参照）。
	3. コントローラーが起動していない（スイッチはオンになっているがライトがついていない）	A2B の電源を再度オン／オフしてください。問題が解消されない場合は、バッテリーのプラグを抜き、3 秒待ってから再度接続してください。その後、もう一度 A2B の電源をオンにします。
	4. モーターパワーコネクタが正しく接続されていない	モーターパワーコネクタが確実に接続されていることを確認してください。
バッテリーが満充電状態ではないのに充電を受け付けない	1. バッテリーと充電器の通信に異常が発生している	充電器をオフにして、バッテリーから充電器のプラグを抜きます。その後、もう一度充電をやり直してください。

10.0 技術情報

一般仕様

- 全体寸法：1725 mm x 598 mm x 1120 mm
- 車両重量（バッテリー除く）：23.7 kg
- 車両重量（バッテリー含む）：28.5 kg
- 最大許容荷重：140 kg
- リヤキャリア最大許容荷重：10 kg
- モーターアシスト最高速度（平坦地）：24 km/h
注：制限値
- 最大アシスト距離（平坦地、無風、発進／停止なし）：50 ～ 70 km
- 使用条件：気温－ 5° C ～ 40° C、最高湿度 80%

電気仕様、バッテリー

- バッテリー種類：リチウムイオン
- 公称電圧：36 V
- 公称使用電圧範囲：30 ～ 42 V
- 公称容量：10 Ah
- 重量：4.1 kg

バッテリーマネジメントシステム（BMS）

- 過充電の管理および停止
- 最大充電電流の制御
- 過放電電流の管理
- 過放電電圧の管理
- 過熱遮断
- セル間バランス機能

電気仕様、充電器

- 入力電圧：AC 115/230 V、50/60 Hz
- 出力電圧：DC 36 ± 0.5 V
- 出力電流：4.0 ± 0.2 A
- 交換用ヒューズ： ミニサイズガラス管ヒューズ
250 V 10 A (ϕ 5.2 × 20 mm)

電気仕様、モーター

- モータータイプ：ブラシレス DC ギヤレスモーター
- モーター電圧定格：36 V
- 連続出力：250 W

電気仕様、モーターコントローラー

- 制御機能:電流、電圧、温度、回生、速度、トルク、発電モーター
- ライト電源供給：6 V、7 W
- 位置：ダウンチューブ内

11.0 保証規定

1. ウルトラモーターの保証制度について。

1.1 お客様のお買い上げ頂いた A2B には、ウルトラモーターによる以下の保証がついています。

2. 保証期間について。

2.1 保証期間 1 年間のもの： バッテリー

2.2 保証期間 2 年間のもの： モーター、コントローラー、その他の部品（消耗品を除く）

2.2 保証期間 5 年間のもの： フレーム

3. お客様にお守り頂く事項

3.1 A2B を安全に、末永くご使用いただくために以下の事項を必ずお守りください。お守り頂けない場合、保証修理を受けられない事があります。

3.1.1 取扱説明書（本書）の指示に従うこと。

3.1.2 運行前点検及び保守、整備を実施すること。

3.1.3 定期点検及び消耗品、油脂類の交換を指示通り行う事。

4. 保証できない事項

4.1 次に示す事項は保証修理いたしません

4.1.1 経時変化あるいは使用損耗による不具合。

4.1.2 一般に品質、機能上影響のない軽微な感覚的現象。（音、振動、オイルのにじみ等）

4.1.3 地震、台風、水害などの天災、事故および火災に起因する不具合。

4.1.4 煤煙、薬品、鳥糞、塩害等に起因する不具合。

4.1.5 通常の注意で発見処置できたにもかかわらず、放置したことに起因する不具合。

4.1.6 A2B を改造したことによる不具合。

4.1.7 ウルトラモーター正規販売店以外で購入した A2B。

4.1.8 オーナー登録を行っていない A2B への保証。

4.2 次に示す項目は保証に含まれません。

4.2.1 収入や所得、業務機会の損失。

4.2.2 予測される節約の損失。

4.2.3 データの損失。

4.2.4 時間的損失。

4.2.5 商品以外への保証。

4.2.6 車両を使用できなかったことによる不便さへの保証。

4.3 タイヤ、チューブ、ブレーキパッド、グリップ、油脂類などの消耗品は保証対象外となります。

5. 保証を受ける為の手続き。

5.1 万一 A2B に不具合が発生した場合はできるだけ早く、ウルトラモーター正規販売店又は株式会社デイトナへお知らせください。ウルトラモーター正規販売店又は株式会社デイトナが不具合のある部品の確認を行い、ウルトラモーターが不良品である事を確認した場合、ウルトラモーターが保証に基づき以下の保証手配を致します。

5.1.1 不良品の交換。

5.1.2 不良品の修理。

5.1.3 不良品に対する一部又は全額の返金

6. オーナー登録及び保証書の発行

6.1 ウルトラモーターの保証を受ける為に A2B を購入後 1 か月以内に付属のオーナー登録用紙に必要事項を記入し、オーナー登録を行ってください。

6.2 オーナー登録完了後 3 週間以内に株式会社デイトナよりお客様のもとへオーナー登録完了のご案内及び保証書が送付されます。保証書は保証修理を受けられる場合必要になりますので大切に保管してください。

12.0 オーナー登録

今すぐオーナー登録カードに必要事項を記入し株式会社デイトナまでご返送ください。ウルトラモーターの保証を受けられるだけでなく、製品に関する今後の重要な情報を受け取ることができます。必ず登録をお願いします。

オーナー登録をされなかった場合、ウルトラモーターの保証を受けられないことがあります。

A2B および一部の重要部品には、固有の製造番号が与えられています。保証のためおよび紛失や盗難時に備えて、製造番号を記録しておいてください。

車体の製造番号はペダルクランク付近のフレーム下側にあります。

車体製造番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

モーター製造番号はモーターハブの左側に刻印されています。

モーター製造番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

モーター製造番号

車体製造番号

その他、以下の重要な情報を記録しておいてください。

購入日：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

販売店：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

販売担当者：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

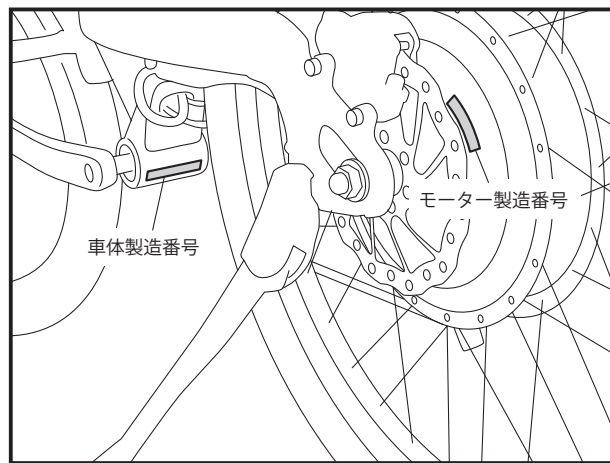
郵便番号：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住所：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

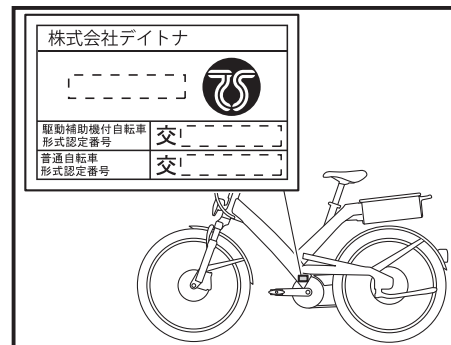
これらの情報は後で確認することができるように保管しておいてください。

A2B を盗難から守るためには、高品質な自転車ロックを使用してください。A2B から離れるときはいつでも、動かない物に車体を固定し、前後輪をフレームにロックしてください。電子キーだけでは十分な盗難防止になりません。

13.0 廃棄

ウルトラモーターは、弊社製品の適切な廃棄とリサイクルを支援しています。自転車や関連部品はお住まいの地域のリサイクル施設で処分してください。お近くのウルトラモーター正規販売店または株式会社デイトナにお問い合わせいただければ、廃棄に関する情報をご提供いたします。

14.0 その他

防犯登録について
防犯登録は、法律で義務付けられています。お買い上げのウルトラモーター正規販売店にご相談ください。登録には車体製造番号が必要です（P49 参照）。

型式認定済標章（新車に貼付してある TS マーク）
このマークは、道路交通法の規定に適合し、国家公安委員会の型式認定を取得した製品にのみ表示されるもので、安心して電動アシスト自転車としてご利用頂ける証明です。この TS マークには、保険は付帯していません。

普通自転車点検整備済み TS マークについて（新車には貼付されていません）
自転車安全整備店で点検整備を行い、基準に適合した安全な自転車にこのマークを貼ることができます（有償）。このマークには、傷害保険と賠償責任保険が付帯されており、万一の事故の際に利用することができます。詳しくは、お買い求めのウルトラモーター正規販売店にご相談ください。